

令和5(2023)年度看護学部 卒業時アンケート調査結果 (報告)

I R 委員会
I R 課

I. 看護学部卒業時アンケート調査の概要

1. 目的

- 1) 学生自身が看護学部における学びを振り返り、看護学部の教育、支援及び自己の成長について評価する。
- 2) 1) の結果に基づき、看護学部の継続的な教育改善に役立てる。

2. 実施

- 1) 対象：東京純心大学看護学部 令和5(2023)年度卒業生 66名
- 2) 時期：令和6(2024)年2月14日
- 3) 配付・回収方法：令和5(2023)年2月14日の看護師国家試験自己採点・連絡の中にて配付、回答後回収（欠席者は後日回答）
- 4) 回収状況：53名（回収率80%）

3. 質問項目

- 1) DP（「ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針」の習得状況に関する自己評価
- 2) 看護学部の教育（講義・演習・実習）改善の必要性について
- 3) 看護学部の支援について
- 4) 学生の成長について
- 5) 看護学部の教育に対する満足の程度について

II 調査結果

1. DP（ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

		① 身につけている	② ある程度身につけている	③ どちらともいえない	④ あまり身につけていない	⑤ 身につけていない
DP1	キリスト教の精神を基調とし、かけがいのない存在である人間を尊び、よりよい人間関係を築くことができる。	人間の尊厳と権利を擁護する力 25 (51%)	22 (45%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)
		人間関係形成力 21 (43%)	22 (45%)	5 (10%)	1 (2%)	0 (0%)
DP2	倫理的かつ的確な臨床判断のもと、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力を身につけている。	臨床判断力 10 (20%)	30 (61%)	9 (18%)	0 (0%)	0 (0%)
		科学的看護実践力 12 (24%)	26 (53%)	11 (22%)	0 (0%)	0 (0%)
DP3	多様な社会に生きる対象者が、自分らしく生活できるよう看護を実践する能力を身につけている。	対象ニーズに基づく看護実践力 13 (27%)	27 (55%)	9 (18%)	0 (0%)	0 (0%)
DP4	看護専門職としての役割・責務を理解し、多職種と連携・協働する能力を身につけている。	看護専門職として自律する力 13 (27%)	27 (55%)	8 (16%)	1 (2%)	0 (0%)
		多職種連携・協働力 17 (35%)	22 (45%)	9 (18%)	1 (2%)	0 (0%)

DP5	看護学の発展のために継続的に学び、看護を創造する能力を身につけている。	課題発見力	15 (30%)	27 (54%)	8 (16%)	0 (0%)	0 (0%)
		課題解決力	11 (22%)	27 (55%)	11 (22%)	0 (0%)	0 (0%)
		看護創造力	13 (27%)	30 (61%)	6 (12%)	0 (0%)	0 (0%)
		継続的に学ぶ力	16 (33%)	23 (47%)	10 (20%)	0 (0%)	0 (0%)

※ 2020年度入学生のみ回答（2018年度以前入学生はDPが異なるため）

☞ 「①身につけている」、「②ある程度身につけている」と回答したものを合わせると、「人間の尊厳と権利を擁護する力」において90%を超える高い習得状況を示している。また、「人間関係形成力」、「臨床判断力」、「対象ニーズに基づく看護実践力」、「看護専門職として自律する力」、「課題発見力」、「看護創造力」において、80%を超える高い習得状況を示している。

DP達成状況

		① 身につ てい る	② ある程 度身に ついて いる	③ どちら とも いえ ない	④ あまり 身に ついて いない	⑤ 身に ついて ない
DP1	キリスト教の精神を基調とし、かけがいのない存在である人間を尊び、よりよい人間関係を築くことができる。	46 (47%)	44 (45%)	7 (7%)	1 (1%)	0 (0%)
DP2	倫理的かつ的確な臨床判断のもと、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力を身につけている。	22 (22%)	56 (57%)	20 (20%)	0 (0%)	0 (0%)
DP3	多様な社会に生きる対象者が、自分らしく生活できるよう看護を実践する能力を身につけている。	13 (27%)	27 (55%)	9 (18%)	0 (0%)	0 (0%)
DP4	看護専門職としての役割・責務を理解し、多職種と連携・協働する能力を身につけている。	30 (31%)	49 (50%)	17 (17%)	2 (2%)	0 (0%)
DP5	看護学の発展のために継続的に学び、看護を創造する能力を身につけている。	55 (28%)	107 (54%)	35 (18%)	0 (0%)	0 (0%)

☞ 「①身につけている」、「②ある程度身につけている」と回答したものを合わせると、「DP1」が92%、「DP2」が79%、「DP3」が82%、「DP4」が81%、「DP5」が82%と、いずれも高い。

【参考】ディプロマ・ポリシー達成状況（自己評価）とディプロマ・ポリシーに関わる学修評価

		自己評価 Lv. 0-4	学修評価 Lv. 1-4
DP1	キリスト教の精神を基調とし、かけがいのない存在である人間を尊び、よりよい人間関係を築くことができる。	3.38	2.82
DP2	倫理的かつ的確な臨床判断のもと、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力を身につけている。	3.02	2.27
DP3	多様な社会に生きる対象者が、自分らしく生活できるよう看護を実践する能力を身につけている。	3.08	2.61
DP4	看護専門職としての役割・責務を理解し、多職種と連携・協働する能力を身につけている。	3.09	2.71
DP5	看護学の発展のために継続的に学び、看護を創造する能力を身につけている。	3.10	2.45

*自己評価は「①身についている」を4点、「②ある程度身についている」を3点、「③どちらともいえない」を2点、「④あまり身についていない」を1点、「⑤身についていない」を0点として換算
学修評価は、各ディプロマ・ポリシーを達成する必修科目の評価G Pの平均

2. 看護学部の教育（講義・演習・実習）改善の必要性について

		①改善の必要がある	②改善の必要はない	③どちらともいえない
1)	4年間の講義について	14(27%)	16(31%)	21(41%)
2)	4年間の演習について	21(40%)	19(36%)	13(25%)
3)	4年間の実習について	22(42%)	16(30%)	15(28%)

〔自由記述〕

(1) 4年間の講義について

【①改善の必要がある】と回答した理由

- ・先生によって差がはげしい。
- ・席が決まっている必要性（がない）。みのりのないものも多い。こまかい所にきびしい。
- ・同じ分野でも先生によって言っていることが違ってとまどった。とくに課題の書式の指定は統一してほしい。授業で使用しているマイクの音声にみだれがあり、直すべきだと思う。
- ・先生が統一されていない。資料が分厚すぎることがある。マイクがすぐ切れる。
- ・受ける気がない人は出席（カード）だけ出して教室から出てもらっても良いと思う。
- ・講義中の私語を注意する教員が少ない。集中して講義を受けられる環境を整えてほしい。
- ・国試の勉強が独学、広義の必要性があまり感じられなかったため。
- ・教科書を使わない教科もあったので活用してほしかった。
- ・実習で演習が不足していたと感じたから。
- ・マイク、空調設備が最悪。
- ・マイクの調子が悪くなることもあり、気になった
- ・事前課題で、看護ルーとかではなく、たばえもんなど、一般のYouTubeの動画をすすめてもらえると、国試前や実習の役に立つし、少し授業の理解度高まると思う。
- ・授業中の私語

【②改善の必要がない】と回答した理由

- ・先生のやる気が4年になってからすごくなった。
- ・今のままで満足しているため。
- ・不明点等がある際、質問しやすい環境だったため。
- ・良かった。
- ・バランス良く知識や技術を向上させることができた。
- ・自ら学ぶ意志があれば適切な講義が多かったと感じるため。
- ・講義も演習も学生が主体となって進めていたから。
- ・役にたった。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・ゼミで勉強したことがとても役立ったため。他のゼミの先生たちも力を入れて国試に取り組んだ方が良い。
- ・今のままで良い。
- ・あんまりよくわからない。
- ・必要ないなと思うものも多かったから。
- ・先生によって当たり外れが多すぎる。先生によって評価の仕方が違いすぎる。
- ・先生によって学生の受講態度が違いすぎる。
- ・講義によると思う。せつかく授業資料を作成して配布してくれるものもあれば、教科書の抜粋よりもかみくだいたり、ポイントがわかりやすかったり、図があつていいと思います。

- ・学生に聞こえる教員同士の悪口が気になりました。
- ・解剖についての講義を増やして欲しい。

(2) 4年間の演習について

【①改善の必要がある】と回答した理由

- ・変なところが厳しい。身だしなみ等。先生、演習によってムラがある。(例えば、小児はネイル OK、母性ネイル NG など。ネイルにかぎらず、髪色や服装など)
- ・つめ、カラーなどは実習じゃないかぎり自由にさせてほしい。
- ・1年生のベツトメイキングやバイタルの演習は手厚かったが、学年が上がるごとに回数が減っていった。複数の先生で演習するときの流れが統一認識されてなくて困った。
- ・もう少し現場を想定したものの方が実習で役立つ。
- ・回数が少ない(3~4年ほぼない)。身についていないまま実習になるため大変。
- ・演習の時間が多かった方が実習前に不安にならないと思ったため。
- ・実習で多い場面等を想定して実施した方が良いと思う。
- ・看護技術の演習の機会をもっと増やすといいと思った。
- ・演習時間が短いのもあり実習でわからないこともあった。
- ・時間が短すぎて演習ができない項目があった。
- ・1回で終わってしまうのでもう少し時間があると良い。
- ・連絡が直前すぎた。身だしなみの指定が厳しかった。
- ・教員間の情報伝達不足がみられたから。
- ・実習で根拠が必要で、演習時からテストもあったけど、そういうのも聞いて練習したほうが良い。
- ・事前説明が雑なのに、できないと怒られた。やる意味があるのか不明な課題を出してくる。
- ・特定の人にだけつきっきりになる。
- ・少し足りない。
- ・演習前の課題提示がギリギリすぎる。演習後の課題も期限がギリギリすぎ

【②改善の必要がない】と回答した理由

- ・生徒一人一人を指導していたため。
- ・十分だったと思う。
- ・スムーズに受けることができた。
- ・わかりやすかった。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・一つ一つの演習の時間をもう少し伸ばしても良いのかなと感じた。
- ・演習の内容はわかりやすく、先生方に質問しやすい環境だったが、事前の説明がもっと細かいと良かったかなと思います。
- ・臨床に必要な看護技術の演習を増やして欲しい。
- ・先生の数と生徒数があっていないと感じた。時間内に全員に同じように説明等を行うことができない。
- ・あまり覚えていない。

(3) 4年間の実習について

【①改善の必要がある】と回答した理由

- ・学生をつめるだけつめて具体的なアドバイスがないときがあった。
- ・教員の人数をもう少し増やして、学生のインシデントを少しでもへらしてほしい。
- ・記録の量の差があり、特に統合実習では領域によって異なるため改善した方が良い。
- ・先生によってあたりはずれがあるように思える。対応を統一してほしい。
- ・ひいき、あたりはずれあり。

- ・ iPad の持ち込み可能など、行動計画や看護記録物をもう少し簡略化した方がいい。実習に何をしに来ているか分からない先生がいる（●●先生の負担大きい）。●●先生実習に来ない、すぐ帰る。
- ・ 臨床教員が病棟看護と仲が良く、小児科で2病棟に別れる際、自分の病棟にほとんど着てくれず、1人で不安になったため。
- ・ 先生で情報を共有し、誰でも同じことを言うようにしてほしい（特に成人）。
- ・ 担当教員で差が出ないよう指導を一律にした方が良くと思う。特に成人領域!!
- ・ 実習先が遠いため、睡眠時間が減り実習に影響が出る。
- ・ 実習開始前に技術に関する指導を充実させてほしかった。
- ・ グループや時期によって、先生方の対応が異なるようなことは改善して欲しいと思います。不安が大きいため、寄りそって欲しかったなと思うこともありました。
- ・ 先生によってルールが違っていて、病棟が変わるごとに先生に合せていけないといけない。実習中にカバンを勝手に開いたりするのもやめてほしい。
- ・ メンバー選択
- ・ 夜眠れなかった。
- ・ 同じ領域でも言っていることが先生ごとに違って、困ることが多かったから。
- ・ 教員だけは学生の味方でいてほしい。小児の臨床教員は頼れずつらい思いをした。
- ・ 実習で記録の書き方に差があった。同じ領域での書き方を統一した方がよいと思ったから。
- ・ 記録が多い。
- ・ 引率教員は学生を好き嫌いで対応を変える。（お気に入りの学生にはやさしい。）
- ・ 実習時、先生が助けてくれることが少ない
- ・ 質より量を求める実習記録を改善してほしい。もっと効率よく記録を書けるようにパソコン入力も導入するべき。教員によって評価がバラバラで不公平。

【②改善の必要がない】と回答した理由

- ・ 少人数制で行い充実していたと感じたため。
- ・ スムーズに進められた。
- ・ 時期は適切であった。
- ・ ある程度充実していた。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・ 乗り越えるのは自分だから。
- ・ 先生によって色々違うからやりづらかった。
- ・ 実習で夜間実習を2日にわけて行ったが、2日とも朝実習と夜実習があるのに、全部●●先生が担当してくれたが、1人に対する負担が大きすぎると思う。
- ・ 感染症等の都合もあるが、短すぎるとほとんど何もできない。
- ・ 後輩の代になって変わったところもあるので特にないです。
- ・ 記録物が多いように感じたが、看護学生なのでそういうものかと感じたため。
- ・ 行く科によって看護師さんの態度が違って、忙しくて学生に当たるのはやめてほしい。先生たちも、報告のときの様子をみてほしい。
- ・ いいこともあったけど、よくないこともあった。
- ・ 全体的に良いと思う。しいていうなら、先輩達が実習で気を付けていた事とかをきけるとよいと思う。

☞看護学部の教育に関する改善の必要性について、「①改善の必要がある」と回答した割合は「実習」が最も高く42%、続いて「演習」が40%、「講義」が27%となっている。

3. 看護学部の支援

		①とても充実していた	②充実していた	③どちらともいえない	④あまり充実していなかった	⑤充実していなかった
(1)	アドバイザーによるサポート・相談について	13 (25%)	24 (45%)	13 (25%)	1 (2%)	2 (4%)
(2)	進路・就職に対するサポート・相談について	22 (42%)	21 (40%)	10 (19%)	0 (0%)	0 (0%)
(3)	国家試験対策に対する支援について	10 (19%)	21 (40%)	17 (32%)	4 (8%)	1 (2%)

〔自由記述〕

(1) アドバイザーによるサポート・相談について

【①とても充実していた】と回答した理由

- ・●●先生には感謝です。
- ・親身に向き合ってくれて、とても助かった。
- ・就職や進路の手続きについて困ったことを聞きやすかった。迷ったらアドバイザーの先生にきくことについてやりやすかった。
- ・自身の不安について答えてくれた。
- ・定期的に面談を行ったので、その時々で相談したいことを相談することができた。

【②充実していた】と回答した理由

- ・相談しやすかった。
- ・メールでのやり取りをしたりして相談できた。
- ・勉強について相談しやすかったため。
- ・●●先生には色々と話しやすくて相談しやすかった。
- ・定期的に面談があったため
- ・半年に1回でもちょうどよかったし、親身になってくれた。
- ・進路の相談をしてくれた。
- ・年度の始まりや国試についてなど、具体的な相談をすることができたから。
- ・相談に乗ってもらえて良かった。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・あまりアドバイザーと関わる機会がなかったため。
- ・必要性は感じなかったです。
- ・あまり相談はしていないため。
- ・あまり利用しなかった。
- ・アドバイザーも時間におわれていた。
- ・2, 3, 4年のアドバイザーはとても良かったが、1年の頃のアドバイザーが何もアドバイスをしてくれず、履修登録が大変だった。
- ・あまり活用しなかった。

【④あまり充実していなかった】と回答した理由

- ・4年生になってからはゼミの先生だった。アドバイザーとあいしょうわるい気がした。

【⑤充実していなかった】と回答した理由

- ・苦手な教員に当たってしまった。1年に2回の面談は必要ですか？
- ・相談すら、面談していない。

(2) 進路・就職に対するサポート・相談について

【①とても充実していた】と回答した理由

- ・先生だけでなく、サポートセンターの人も支えてくれて、一緒に喜んでくれた。
- ・やさしかった。
- ・わかりやすかったし、役立つ情報をもたらえた。
- ・サポートセンターの先生の就活アドバイスがとても良かった。
- ・すごく優しく、ほめてくれるので、自己肯定感上がった。
- ・▲▲先生にとっても親身な相談に乗ってもらえて、とても有難かったです。
- ・履歴書の書き方や面接練習などをやっていただけだったので、安心して就職活動ができました。
- ・キャリアセンターは、先生が優しくとても話しやすく相談しやすかった。
- ・十分に就職サポートを受けることができた。
- ・キャリアセンターの人たちが親身になって一緒に行ってくれた。
- ・面接練習をわかりやすく親身になって指導してくれたから。
- ・▲▲先生や学務の方、アドバイザーそれぞれが手厚い対応をしてくれた。
- ・キャリアセンターやアドバイザーによる面接練習、履歴書の添削をしてくださり、不安なく就職面接を行えた。
- ・めんせつれんしゅうをして下さったため。

【②充実していた】と回答した理由

- ・過去をふまえての対策をしてくださり良かった。
- ・面接の練習は良かった。
- ・面接の相談等を▲▲先生が親身になってくれたことがとてもありがたかった。
- ・面接練習等行えたため。
- ・色々サポートしてもらった。
- ・面接の練習で、1対1でアドバイスをしてくださったため。
- ・面接のサポートをして頂きました。
- ・就職時の面接練習をととても丁寧に行ってくれたため。
- ・進路の相談をしてくれた。
- ・親身になってくれた。
- ・面接練習が役立った。
- ・▲▲先生が親身になってきいてくれた。
- ・面接練習などに対応してもらえて良かった。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・自分で決めたから。
- ・あまりうけてない。
- ・キャリアセンター等をあまり活用しなかったため。
- ・あまり利用しなかった。
- ・進学等の情報等がなかった。

【④あまり充実していなかった】と回答した理由

【⑤充実していなかった】と回答した理由

(3) 国家試験対策に対する支援について

【①とても充実していた】と回答した理由

- ・ゼミ、315オ♪♪ ●●先生が1番。
- ・完璧！
- ・ゼミの先生がとても親身になってくれた。
- ・クラスルームや模試の頻度など、学生の生活を考慮して対策してくれたから。

【②充実していた】と回答した理由

- ・勉強が必要だと気づかされた。
- ・ゼミごとの少数で行う対策はやりやすいし分かるからいいと思うが、全体の補講について分かりやすいものと分厚い資料だけのものがあった。国試が近づくにつれて、●●先生が去年の合格率の話やこのままでは1～3年生が不安で大変だ、等を言われていたが、私達の代だって不安を抱えているのに、このままではうからないとマイナスは話ばかりされた。学校の合格率を上げたい気持ちもわかるが、合格するために必要な事の共有をすべきだし、してほしかった。●●先生がマイクを持つたびにマイナスな事を言われてしまうのか、という気持ちになった。
- ・補講が充実していたため。
- ・資料等いただけただけのため。
- ・先生への質問や定期的に行われる模試などがあったため。
- ・ゼミによってバラつきがあった。
- ・補講（聖マリ等）が良かった。
- ・外部講師の講義があったため。
- ・QBが配布されたから。
- ・先輩たちが使用していた動画や、アプリを知りたかった。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・自分がどうするかだから。
- ・きていない。
- ・自分でやった。
- ・鉛筆削りあまり削れなかった。チョコの方が良かった。過去問配った方がいい。補講は使える資料と使えない資料の差があった。●●先生が出て来て生徒もいる中で、過去は10人程落ちたからとずっと言っていて、先生が出てくる度に嫌な気持ちになった。
- ・ゼミによって学習の内容にかなり差があるように感じた。母性領域は先生達が親身になってくれて良かった。
- ・オンラインだとありがたいなと思いました。通学時間などを考えると家でサポートを受けられたら効率的だと思います。
- ・学校に来て、4年生は授業じゃないから、暖房をつけてもらえなかった。自習のために教室をあけてほしかった。
- ・去年の先輩の否合格が多かったからなのか、勉強しているのにプレッシャーになること言われた。でも、なぐさめてくれる先生もいた。
- ・役に立つ授業もあったけど、いらぬ授業もあった。
- ・充実していたように感じたが、合否が分からないため。

【④あまり充実していなかった】と回答した理由

- ・自分でやった方が良かった。ゼミで学習するのではなく、先生を選ばせてほしかった。苦手で学習がよくがわかなかった。
- ・自分で勉強したため。講義等の必要性は感じなかった。
- ・自分の進み具合がちがったり、レベルがちがったりしたため。全員出席という補講でもなく、自分で出席するか決められるようなものにしてほしかった。

- 先生は生徒を一切省みず、立場と学校についてしか話さないため。何のやる気にもつながらない。むしろマイナスでした。ゼミの差が大きくて頼りづらかった。
- もっと国家試験対策について手厚くするべきだと思う。自力で課題を見つけ出し、頑張るために教えて欲しかった。

【⑤充実していなかった】と回答した理由

- 大学教員による補講が過去問を解く→解説で、家でもできる学習であり非常に効率が悪かった。模試等の成績によって参加は自由にしても良いと思う。

☞「①とても充実していた」、「②充実していた」と回答したものを合わせると、「(1) アドバイザーによるサポート・相談」が70%、「(2) 進路・就職に対するサポート・相談」が82%、「国家試験対策に対する支援」が59%となっている。

4. 本学での学びや体験を通して、入学時と比べた成長の程度

	①とても成長した	②成長した	③どちらともいえない	④あまり成長しなかった	⑤成長しなかった
本学での学びや体験を通して、入学時と比べてどの程度成長したか。	18 (34%)	25 (47%)	10 (19%)	0 (0%)	0 (0%)

[自由記述]

【①とても成長した】と回答した理由

- 勉強するのが楽しくなった。
- 周りがみえるようになった。今まで一番勉強した。
- 4年間がんばりすぎました。
- 強くなった。
- 実習では良い先生方にめぐまれ、様々なご指導いただきました。
- 同じ学校出身もいなければ、地方も違う人の集まりで、自分の強みを活かして様々な場面で活躍できた。
- 実習などで同世代だけでなく、看護師や患者さんと関わり、同世代以外との関わりを学ぶことができた。
- 看護に対する知識を付けられたため。
- 実習はとても成長する機会になったと思う。外部の人と関わるのは（看護師、患者さんなど）とても視野が広がったと思います。

【②成長した】と回答した理由

- 看護についてくわしくなった。
- 知識や経験は得られたと思うが、十分ではない。
- 自律した。
- 入学前よりも実習を通じて物事を広く見るできるようになったと思う。
- 看護力が身についた。
- 自分で決めて実行する力が身についたと思います。
- 自分についてよりわかるようになり、対策の方法、人間性が身についた。
- 協力性がより身に付いた。
- 看護に関すること。
- 人間性。
- 学習面だけでなく、自分自身のことについて理解し、考えたことで成長できたと思うから。
- 辛い経験をした分は成長できていると思う。
- 自立（生活面でも学習面でも）。
- メンタル。
- 実習を通して、対人スキルが上がったように感じる。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・看護師として働くという意思が芽生えたところ。
- ・あまり変化を感じない。

☞ 「①とても成長した」、「②成長した」と回答したものを合わせると 81%と高い割合になっている。

5. 看護学部の教育に対する満足の種類

	①とても満足している	②満足している	③どちらともいえない	④あまり満足していない	⑤満足していない
看護学部の教育に満足しているか。	8 (15%)	22 (42%)	18 (34%)	3 (6%)	2 (4%)

〔自由記述〕

【①とても満足している】と回答した理由

- ・充実していた。
- ・楽しみながら勉強できた。先生とも仲良くなった。

【②満足している】と回答した理由

- ・優しい。
- ・講義、実習が充実していたため。
- ・リモートも長かったが、大学生らしい生活を送れたため。
- ・講義によって差があったと思いますが、先生に親しみやすかったし、全体的に満足しています。
- ・一つ一つの内容について、細かく解説して下さったため。
- ・先生方との距離が近いので、先生方に相談しやすいため。
- ・先生が親身になって話を聞いてくれたり、習熟度に合わせた講義の内容になっていたから。
- ・看護研究は計画立案までだから。
- ・大体の先生や学務課の方は優しい。
- ・実習では、技術の不足を感じたが、実習で成長できたので良かったと考える。

【③どちらともいえない】と回答した理由

- ・別に何とも思っていない。
- ・良いものが多数だが、いけないものもあった。
- ・もっといいやり方がある。連携をとれていない。
- ・全てがギリギリに伝えられていた印象がある。
- ・講義を国試に必要なものを多く入れた方が良いと思う。早い段階から過去問に触れとくのも大事だと思った。
- ・良い先生とそうでない先生の差が目立つから。
- ・看護に関する講義を中心にしてほしい。
- ・最終的には自分次第。
- ・よい先生や授業もあった。
- ・先生に教わったらその後は友人、自分でどうにかするしかない。

【④あまり満足していない】と回答した理由

- ・学生をひまだと思っている。連絡がおそい。
- ・資料だけ配って読みあげるだけの講義はやめた方が良い。半分以上ねていることもあった。

【⑤満足していない】と回答した理由

- ・学費高い分、マイクやエアコン等、しっかりしてほしい。

☞ 「①とても満足している」、「②満足している」と回答したものを合わせると 57%となっている。

6. 東京純心大学について、改善するともっと良くなると思うこと

〔自由記述〕

- ・バスの本数を増やしてあげてほしい。
- ・バスの本数。場所。
- ・通学方法を増やしてほしかった。
- ・設置が不便なところがあったため、もう少し改善されるとよいと思った。
- ・バスの時間。空調に関すること。教室のイス（個体差あり）。菓子、パン、アイス等の自販機の設置。
- ・建てかえたらもっと生徒増えると思う。
- ・施設を新しくする。
- ・PCの立ち上がりが速くなると良い。
- ・学内にコンビニ等の売店があった方が良い。学食のメニュー増やした方が利用者ふえると思う。
- ・日程などもっと早く出してほしい。パソコン室の改善おそすぎる。コピー機！バス！教室の部屋が、暑すぎるか寒いかで勉強できなかった。
- ・自習室で勉強することが多かったため、多くの学生が利用できるようにしてほしい。
- ・全てがギリギリに伝えられていたこと。部屋が冬はあつすぎ、夏は寒すぎで大変だった。
- ・連絡（Gメール）に対する返信や、連絡事項の伝達をもう少し速くする。
- ・事務の方しっかり。
- ・じむがしっかりしてほしい。多額なお金へらしてほしい。
- ・学費を安くすること。
- ・授業中のしゃべり声が気になる時があったので、その点を工夫できたら良いと思う。
- ・自分の書いた本をかわせるような先生がいたが、やめてほしい。学生はいつもねていると思われているが、自分に有益だと思う良い講義は皆起きていたので工夫が必要だと思う。
- ・もう少し生徒の気持ちを理解した方がいい先生が数人いる。いい先生はいるが、それ以外の先生は実習に遅れてきたり、謝罪しなかったりで大変だった。生徒が学ぶ場なので、責任を持って先生が指導してほしい。それから自分の書いた本を売って授業する先生がいる。授業中にもっと生徒が寝ないような工夫をするべき。授業が上手な先生の授業は寝ている人が少ない。授業が、何を言っているか分からない人がいるので、改善するべき。
- ・実習での学びと講義での学びが中々結びつかないことが多かった。かなりかみ砕いた内容にしないと講義が楽しくなかった。テコムやアカデミーの講師の方々のような内容の方がわかりやすく頭に入ってきやすかった。
- ・テストの解答を教えるなどした方が良いと思います。（自身の失点した場所が解った状態での）
- ・国試対策を。
- ・他大学や他の医療系では実習先までの金銭補助や宿泊先など学校側からの援助があると聞くが、一切それもなく、遠いところばかりに実習に行くことが辛かった。もっと良い学費の使い方をしてほしい。再試代も高すぎる。自分の書いた本をうることをやめていただきたい。
- ・エアコンの差がはげしい。国試におちるとか、先生が言うのはおかしいと思った。
- ・教員の質をもっと上げてほしい。
- ・部活動の充実。他学年との交流の場。上も下も、ききたい事、教えたい事などたくさんあると思う。